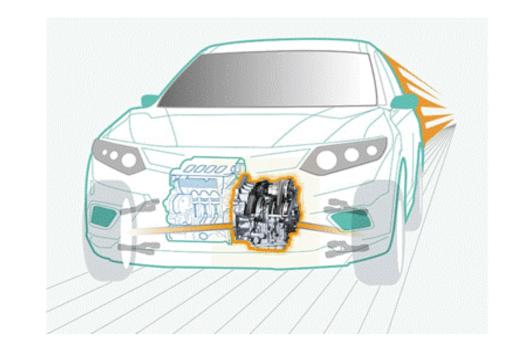


- 1. 会社概要
- 2. 申請概要

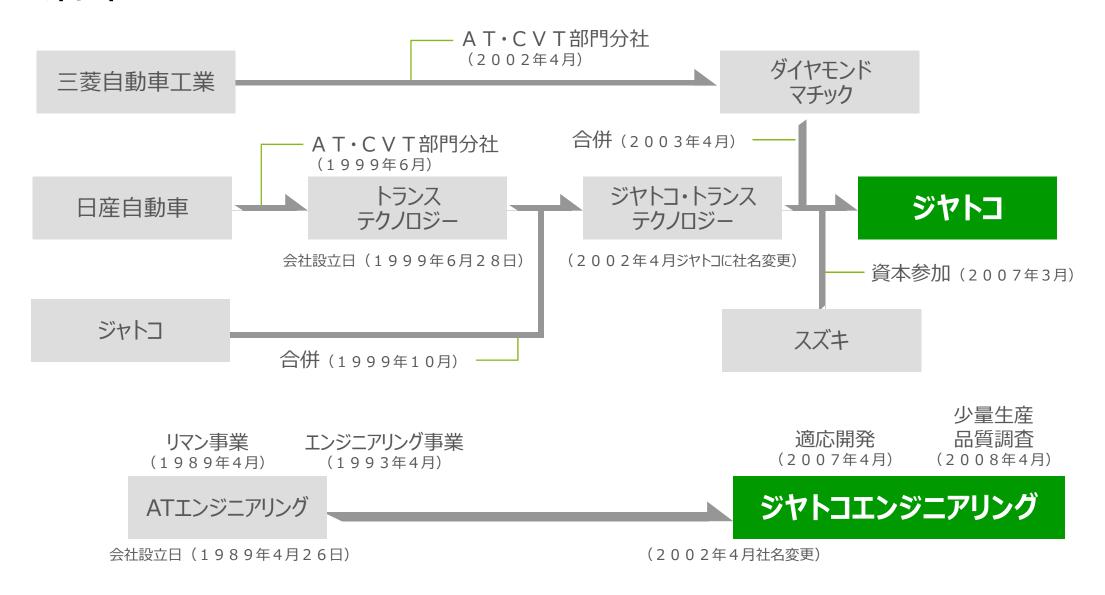


- 3. リマニュファクチャリング(リマン)工程
- 4. 今後の展開

# 1. 会社概要

事業内容	自動車用自動変速機の開発・製造・販売
<b>設</b> 立	1999年6月28日
資 本 金	299億3,530万円
従業員数	14,300名(2017年3月31日現在、連結)
株主	日産自動車(75%) 三菱自動車(15%) スズキ(10%)
売上高	7,220億円 (2016年度、連結)

## 沿革

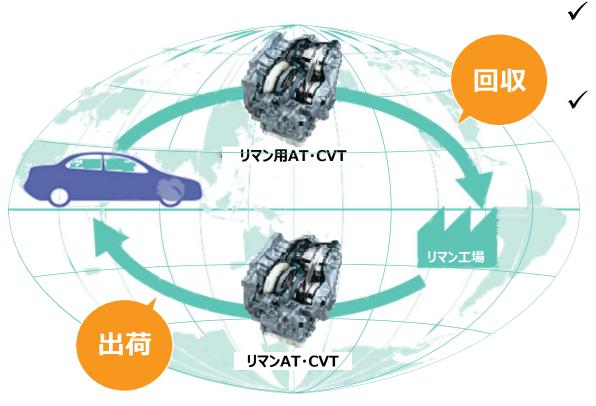


リマン: リマニュファクチャリング

CVT:無段階変速機

## 2. 申請概要

市場で不要となり廃棄されていたオートマチックトランスミッション(以下、AT、またはCVTと称す)を回収し再利用することで、資源やエネルギーの無駄を省き、資源の循環を行っています。



✓ 廃棄物削減効果:582 ton/年 (台当り平均 63%再利用)

✓ CO<sub>2</sub>削減効果 : 703 ton/年

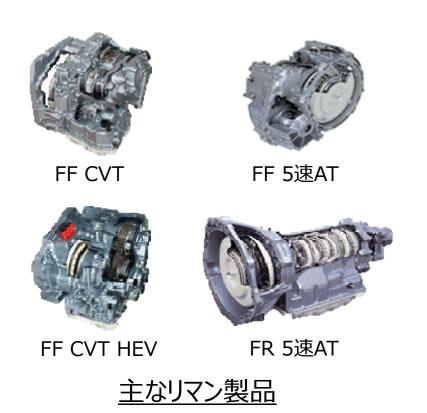
(国内のみ)

## 2. 申請概要

- ✓ リマン開始:1989年(27年間継続中)
- ✓ リマン台数比率(量産台数比): 0.36%(2016年度実績)

台/年

✓ 対象自動車メーカー:
日産自動車、スズキ、マツダ、三菱ふそう、VW



'03'04'05'06'07'08'09'10'11'12'13'14'15'16'17 リマン生産台数

■北米

■日本

#### 出荷



#### 回収ユニット





梱包



リークテスト



ファイナルテスト









部品選別



バルブ分解・組立・テスト



メイン組立







部品洗浄



部品補充(マーシャリング)



部品組立



分解・調査

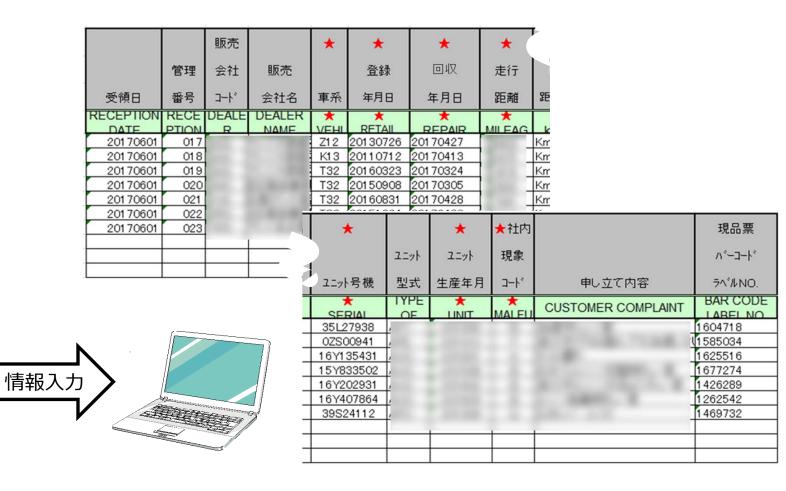


#### ▶ 回収品の受付・登録

情報記入シートに記載された様々な情報を、システム管理しています。



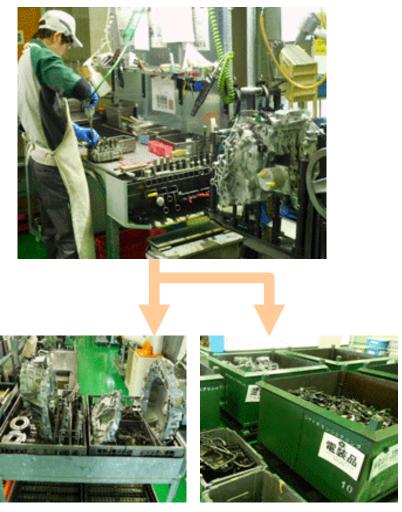




回収情報の登録データ

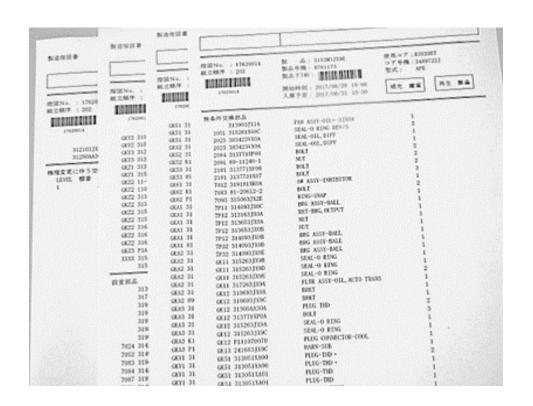
#### ▶ 分解·調査

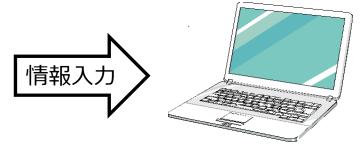
製造指図書にしたがって、再利用品と材料リサイクル品に分別します。



再利用品

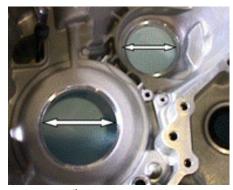
材料リサイクル品





#### ▶ 部品選別

- ✓ 走行機能に関わる項目(駆動伝達、燃費、ノイズ、加速性等)は新品と同じ図面基準を用い、再利用できる部品を選別しています。
- ✓ 走行機能に関わらない項目は、リマン独自の基準を定めています。

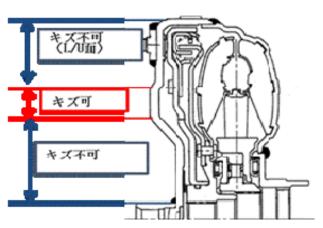


ベアリング支持部内径



遊星ギヤ歯面とのクリアランス

走行性能に関わる項目の例



トルクコンバーター外観の傷・打痕



ステップモーター外観の傷・打痕

走行性能に関わらない項目の例

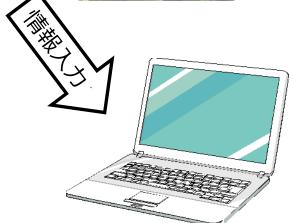


再利用



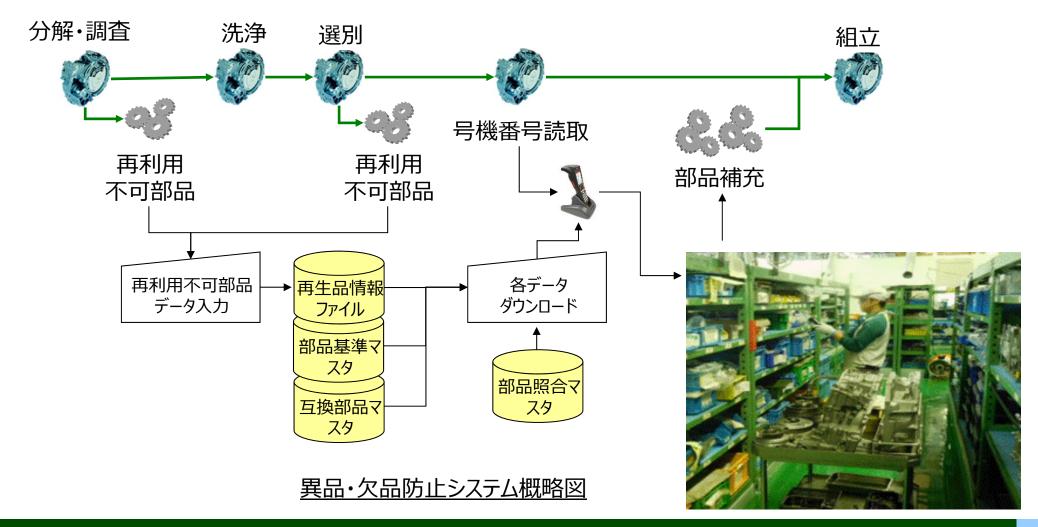


材料 リサイクル



#### ➤ 部品補充 (マーシャリング)

部品納入から補充まで、一連の作業にバーコードハンディーターミナルを活用することで異品 組み込みや欠品を防止しています。



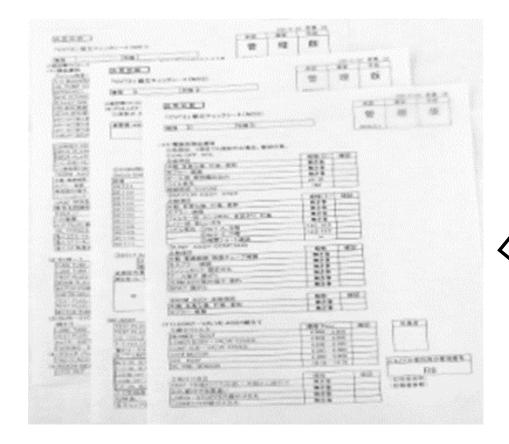
- ➤ 組立(部品組立&メイン組立)
  - ✔ 組立工程の基準は、量産組立と同じ基準を用いています。
  - ✓ チェックシートにしたがい、部品精度、組み付け精度、締め付けトルク等を確認し、その 結果を記録・保管しています。



部品組立



メイン組立



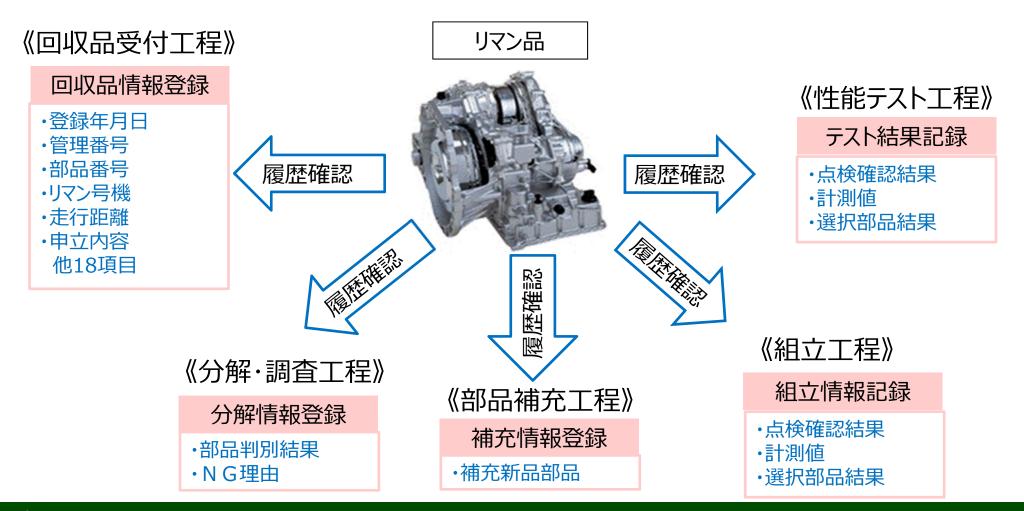
チェックシート

- ▶ 性能テスト
  - ✓ 新品と同じテスト項目(変速、振動騒音、油圧等)を同じ基準で実施しています。
  - ✓ 更に専用テスト項目を追加し、再利用品の部品性能をチェックしています。



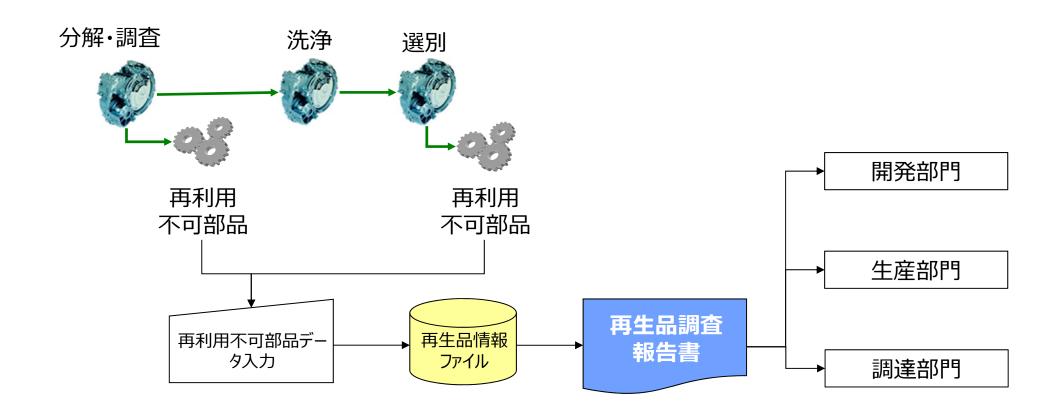
	テスト項目数	テスト項目例
新品•再生品	25	変速速度 振動騒音 油圧 etc.
再生品専用	11	変速ショック プーリ比 etc.

- ▶ トレーサビリティ
  - ✓ 回収から完成まで、一台毎に工程履歴が確認できるようにしています。
  - ✓ リマンに用いた部品一個一個についても、量産と同様にどこでいつ製造されたものか、 トレーサビリティーを確保できるようにしています。



### ▶ 開発へのフィードバック

- ✓ 再利用不可となった部品を詳細に調査し、製品開発へのフィードバックを行うことで、 更なる品質向上を行っています。
- ✓ リマンしやすい部品設計、修理しやすい構造等のフィードバックを行い、再利用率の向上を図っています。



## 4. 今後の展開

ジヤトコグループは、更なる環境改善をめざし、

- ✓グローバルな採用拡大(日本、北米は実施済み)
- ✓対象機種の拡大
- ✓再利用部品種の拡大
- ✓自社内再生率の向上

を進めることで、廃棄物やCO2排出量の更なる削減を行ってまいります。